

岐阜県立森林文化アカデミーとの連携協定について

ポイント

- ① **連携協定の締結**：豊田市の森づくり人材を育成するため、岐阜県立森林文化アカデミーと連携協定を締結する。
- ② **森林組合職員の研修実施**：具体的な取組は、豊田森林組合職員を対象とした研修の実施等で、新・構想に沿った施業を展開する。

1 目的

- ・豊田市は平成 29 年度に「新・森づくり構想」を策定し、森林保全、森の価値の向上、木材生産コストの効率化を進めるが、現場人材（森林施業プランナー等）の育成が急務。
- ・中部地方で実績のある岐阜県立森林文化アカデミーと連携して、豊田市の現場人材育成のための研修事業を平成 30 年度からスタート。開始にあたり連携協定を調印する。

2 岐阜県立森林文化アカデミーについて

- ・岐阜県美濃市にある森林専門の県立専修学校。
- ・常勤講師 17 名を誇る日本屈指の林業大学校で、「森と木のエンジニア科」「森と木のクリエイター科」の 2 科で計 40 名の学生教育（2 か年）が軸だが、近年は社会人教育やドイツとの連携協定などにも力を入れている。
- ・豊田市との交流は平成 28 年度から始まり、平成 29 年度は豊田森林組合の若手職員を対象にプレ研修（4 日間）を実施した。



3 協定書（主なもの）

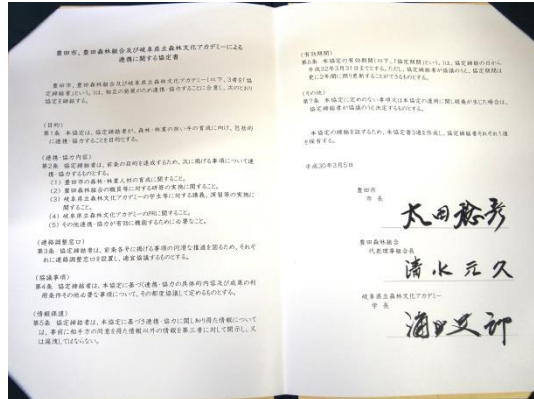
- （1）協定者：岐阜県立森林文化アカデミー学長、豊田森林組合長、豊田市長
- （2）協定期間：平成 30 年 3 月 5 日～平成 32 年 3 月 31 日（約 2 か年、更新可）
- （3）連携項目：
 - ・豊田市の森林・林業人材の育成に関すること。
 - ・豊田森林組合の職員等に対する研修の実施に関すること。
 - ・岐阜県立森林文化アカデミーの学生等に対する講義、演習等の実施に関すること。

4 連携取組（研修の実施）

- （1）対象者：豊田森林組合職員（森林施業プランナー）。計 10 名程度（5 名×2 回）。
- （2）研修予定期間：平成 30 年～平成 33 年度（4 年間）
- （3）研修内容：
 - ・2 か年通し研修プログラム。「年 8～10 日間×2 年」研修を 2 回実施。
 - ・新・構想に沿った研修メニュー（将来木施業、森林のゾーニング、安全な路網等）。

5 調印式のスケジュール等

- ・日時 平成 30 年 3 月 5 日 (月)
- ・場所 岐阜県立森林文化アカデミー (美濃市)
- ・メディア発表 岐阜県、豊田市双方が記者発表する。
- ・参加協定者 岐阜県立森林文化アカデミー 学長 涌井 史郎
愛知県豊田森林組合 組合長 清水 元久
愛知県豊田市 市長 太田 稔彦



岐阜県立森林文化アカデミー 学長

涌井史郎 (通称：雅之)

1945 年、神奈川県鎌倉市生まれ。造園家として、多摩田園都市、ハウステンボスのランドスケープ計画・デザインに参加する。「愛・地球博」の会場演出総合プロデューサーも務める。

現在は、桐蔭横浜大学で特任教授を務めるとともに、TBS「サンデーモーニング」、大阪 MBS「ちんぷいぷい」等で、コメンテーターとしても活躍中。

